



大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 大野直竹  
大阪市北区梅田 3-3-5

## 「サステナビリティレポート2017」発行

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）は、2017年6月30日、「サステナビリティレポート2017」を発行しました。

当社グループでは、「中期CSR計画（2016～2018年度）」を策定し、サステナブルな企業経営の推進に努めています。そのような中、当社では2005年より「CSRレポート」を発行し、CSRに関する取り組みを開示してきました。

そしてこのたび、各ステークホルダー（お客さま、従業員、取引先、地域市民、株主）とのさらなる良好な関係構築に向け、「CSRレポート」と「環境報告書」を1つにまとめ、ESG※1に関する網羅的な情報を掲載した報告書「サステナビリティレポート2017」を発行することとなりました。

本レポートは、投資家や企業評価機関、有識者等を主たる読者としています。今年度はこうした読者や社会からの情報開示の要請を踏まえ、バリューチェーン上の主たる取り組みとSDGs※2への貢献を示す共に、サプライチェーンのESG課題への対応、人権マネジメント等について詳しく報告しています。

※1.環境：Environment、社会：Social、ガバナンス：Governanceの略語のこと。

※2. 2015年に「国連持続可能な開発サミット」で採択された持続可能な開発目標のこと。



【サステナビリティレポート2017】

### ■主な内容

理念体系・中期計画	会長・社長メッセージ、バリューチェーンと重要課題（SDGsへの貢献）
お客さまとの共創共生	高品質な商品提供、長期にわたる信頼関係構築、社会課題を解決する事業
従業員との共創共生	労働環境の改善・健康経営の推進、ダイバーシティの推進、人財育成
取引先との共創共生	サプライチェーン上のESG課題の対応、施工会社の労働条件の改善と人財の確保
地域市民との共創共生	事業（まちづくり）を通じたコミュニティ発展の支援、地域共生活動
株主との共創共生	株主還元とIR活動、IRに関する社外からの評価
環境との共創共生	地球温暖化防止、自然環境との調和、資源保護、化学物質による汚染の防止
CSR経営の基盤	コーポレートガバナンス、人権マネジメント、腐敗防止、CSRマネジメント

### ■サステナビリティレポート2017

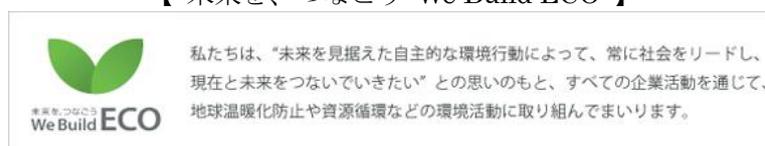
[http://www.daiwahouse.com/sustainable/csr/esg/csr\\_report/](http://www.daiwahouse.com/sustainable/csr/esg/csr_report/)

### ■関連する報告書やESGインデックスの選出状況

<http://www.daiwahouse.com/sustainable/csr/esg/>

以上

### 【未来を、つなごう We Build ECO】



#### お問い合わせ先

広報企画室	広報グループ	06-6342-1381
	東京広報グループ	03-5214-2112